

ニュース

奄美群島9自治体で水道の遠隔検針サービス実証実験、業務削減効果を検証

神近博三 = ライター

2025.08.15

おすすめ0

シェアする

BI! X ポスト

印刷

鹿児島県の奄美群島にある9つの自治体は2025年8月から2026年5月にかけて、NTT西日本、NTTテレコンと共同で、水道メーター遠隔検針の実証実験を実施する。実験では、NTTテレコン製の通信端末と電子式水道メーターを接続して、NTTテレコンの集中監視センターを介して各自治体の担当者が水道メーターの遠隔検針を行う。奄美市、喜界町、瀬戸内町、龍郷町、知名町、与論町、和泊町、大和村、宇検村が実験に参加し、これら9自治体の計58カ所に通信端末と電子式水道メーター（以下、水道スマートメーター）を設置する。



水道メーターの遠隔検針サービスの提供イメージ（出所：NTTテレコン）
[画像のクリックで拡大表示]

実験では、遠隔検針による業務稼働量の削減や住民サービス向上の効果を定量的に測定して、検針業務の効率化によるコスト削減、人員不足の解消、目視の検針が難しい場所にあるメーターの「難検針」の解消、蛇口の締め忘れや漏水などのトラブルの早期発見、検針時に使用する車両の排出する二酸化炭素削減といった成果につなげていく。

さらに、水道スマートメーターから収集したデータを複数の自治体が共有することで、見守りサービスや自然災害発生時への対応といった住民サービスの向上、水道スマートメーターの共同調達による遠隔検針の導入コスト削減についても検討していく。

実験に参加する奄美群島の9自治体は2025年8月8日、実験に先立って「水道スマートメーター実証実験の実施」に伴う協定を、NTT西日本鹿児島支店、NTTテレコン九州支店と締結した。実験では、各自治体の実証フィールドの提供、NTT西日本鹿児島支店が水道検針データの分析と上下水道業務のDX化に向けた検討、NTTテレコン九州支店が水道メーターの遠隔検針サービスの提供とデータ化を担当する。

ランキング・調査

- ・シティブランド・ランキング2024
- ・人口増減率ランキング2024
- ・人口増減率ランキング2019-24
- ・全国自治体・視察の多い事業総覧2024
- ・子育てしやすい自治体ランキング2024
- ・都道府県「SDGs認知度」ランキング2024

TOPICS

知事
の
視座

●知事の視座

地域課題の解決には、広域自治体（都道府県）の役割が重要に！

●ビジョナリー・フラッグ・プロジェクト

メディア企業ならではの強



みを生かし、イノベーションを加速する！

👑 アクセスランキング

- 1 水素の社会実装に向けた処方箋
- 2 自治体別・視察の多い事業一覧2024（東日本編）
- 3 水素エネルギーの社会実装を進めるうえでの課題
- 4 「住みよい街」TOP50自治体は、どこが評価されたか<2024>
- 5 カフェ併設の学校給食センター、町田市がPFIで整備
- 6 自治体別・視察の多い事業一覧2024（西日本編）
- 7 「評判」と「実績」で見る子育てしやすい自治体ランキング2024